

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

最終改訂年月: 21 May 1999

背景: 脳卒中患者は、急性ケアおよびリハビリテーションのため入院することが通常である。現在では、急性脳卒中患者の入院回避支援サービス(在宅医療)が開発されている。

目的: 本レビューの目的は、このようなサービスの費用と効果に関し、従来のサービスと比較して確立することであった。

検索戦略: Stroke Group Specialist Register of Controlled Trialsを検索し、共同研究者および試験実施者との討議によって補足した。最終更新日は、1999年3月である。

選択基準: 入院歴がない脳卒中患者が登録されており、(a)入院回避の支援を目的としたサポートを提供するサービスと(b)従来のサービス(入院も含む)が比較された対照臨床試験。

データ収集分析: 2名のレビューアが適格性および試験での研究手法の質について独立に判定した。次に試験実施者と連絡をとり、標準化された記述データとアウトカムデータを入手した。

主な結果: 本レビューには4件の試験を登録しており、このうち3件ではアウトカムデータが入手可能となっている(患者921名;1件の比較試験では857名、2件のランダム化試験では64名)。個々の試験間とプール分析のいずれにおいても、介入群と対照群に患者および介護者のアウトカムには統計的有意差が認められなかった。介入群では、病床使用数および費用の増加傾向が認められた。

レビューア見解: 現在のところ、入院ケアから急性脳卒中患者ケアへの抜本的移行が支持されるようなエビデンスは、臨床試験から得られていない。

Citation: Langhorne P, Dennis MS, Kalra L, Shepperd S, Wade DT, Wolfe CDA. Services for helping acute stroke patients avoid hospital admission. The Cochrane Database of Systematic Reviews 1999, Issue 3. Art. No.: CD000444. DOI: 10.1002/14651858.CD000444.

Clib issue No.: 2005 issue 4

CRG名: Stroke

* ご注意: この日本語訳は、試験的翻訳(Draft翻訳)版として公開するものであり、翻訳の正確さや質が保証されたものではありません。訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡下さい。また、この試験的翻訳版はコクラン・ライブラリ2005年issue 4に掲載されたレビュー・アブストラクトの翻訳です。コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されていますので、ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認下さい。